

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原医療保育福祉専門学校千葉校
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	医療事務科	夜・通信	760時間	160時間	
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科	夜・通信	1914時間	160時間	
	こども保育学科	夜・通信	1335時間	160時間	
	保育専攻科	夜・通信	740時間	80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>下記ホームページで公表している。  <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a></p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

<p>学科名</p> <p>(困難である理由)</p>
-----------------------------

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原医療保育福祉専門学校千葉校
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

下記ホームページで公表している。 <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2019.4.1～ 2023.3.31	法人運営における法 務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システ ム開発・印刷関連企業 代表	2019.4.1～ 2023.3.31	学生募集、教材開発 への助言
非常勤	前：不動産関連企業 代表	2019.4.1～ 2023.3.31	校舎等学習環境の 整備への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原医療保育福祉専門学校千葉校
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>■授業計画書の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画(シラバス)について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業(各学科)担当教員により作成を行っている。</li> <li>・なお、教育課程編成委員会を設け、専門分野に関する企業、団体等との意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、内容の見直しと更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。</li> </ul> <p>■授業計画書の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成時期：1月から2月末日</li> <li>・公開時期：4月</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p>下記ホームページで公表している。</p> <p><a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において、出席、試験、成績および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。</p> <p>なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。</p> <p>■卒業について</p> <p>本校に在学し、所定の授業時間数以上を履修し、かつその該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>■学業成績について</p> <p>学業成績は、学則第18条に基づき、授業科目ごとに行う試験(100点満点)によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。</p> <p>学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、次のとおりとする。</p> <p>(医療事務科・保育専攻科)</p> <p>優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>(介護福祉科・こども保育学科)</p> <p>優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>■成績評価等</p> <p>各授業科目を100点満点で点数評価する。</p> <p>各授業科目の成績を点数評価(100点満点で評価)し、全科目の平均値を算定することで成績分布を把握している。</p> <p>学業成績の判定は、優(80点以上)・良(60点以上)・可(50点以上)・不可(49点以下)の4種で判定し、「優・良・可」を合格(認定)とし「不可」は不合格(不許可)とする。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>下記ホームページで公表している。</p> <p><a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>■卒業について</p> <p>本校に在学し、所定の授業時間数以上を履修し、かつその該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>・医療事務科 1, 700時間 履修: 1, 740時間 合格: 1, 700時間</p> <p>・介護福祉科 2, 044時間 履修: 2, 044時間 合格: 2, 044時間</p> <p>・こども保育学科 1, 710時間 履修: 1, 710時間 合格: 1, 710時間</p> <p>・保育専攻科 850時間 履修: 870時間 合格: 850時間</p> <p>介護福祉科及びこども保育学科の卒業については、次に掲げる3項目に基づき、校長がこれを認定する。</p> <p>(1) 履修時間の出席率</p> <p>なお、授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない者、及び介護実習及び保育実習の出席時間数が履修時間数の5分の4に満たない者は、履修の認定をしないこととする。</p> <p>(2) 授業科目ごとの学業成績</p> <p>(3) 実習先施設の評価</p> <p>各課程・学科に定められた授業科目や検定試験等で一定の基準を満たしていない者は追試験等を合格しなければ卒業できない。</p> <p>■専門士の授与</p> <p>卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める下記の学科(1年制コースを除く)を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。</p> <p>・商業実務専門課程医療事務科</p> <p>・教育・社会福祉専門課程介護福祉科</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>下記ホームページで公表している。</p> <p><a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原医療保育福祉専門学校千葉校
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療事務科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700単位時間	1200 単位時間	1720 単位時間	540 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3,460単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
158人		136人	0人	5人	3人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>■授業方法及び内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業方法は学習の内容により適した方法を、講義、実習、グループワークの中から選択して実施している。</li> <li>・医療事務・介護・福祉・保育並びにこれらのビジネスに関する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって医療・福祉・保育関連産業に従事する有為な人材を育成することを目的とする。資格取得及び実践的な技術とし知識を実習と演習にて修得する。</li> </ul> <p>■年間の授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。</li> <li>・なお、教育課程編成委員会を設け、専門分野に関する企業、団体等との意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、内容の見直しと更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>■成績評価</p> <p>学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>■試験</p> <p>授業科目ごとに行う定期試験による。ただし、授業科目によってはその他の方法で査定する。その他の方法には実習成果、履修状況などの評価が含まれる。また、本校において必要と認めたときに限り、追試験及び再試験を行う。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校に在学し、所定の授業時間数以上を履修し、かつその該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>無断欠席の場合、電話連絡 本人・保護者・担任による三者面談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
78人 (100%)	0人 (0%)	75人 (96.2%)	3人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 慈恵大学、順天堂大学、国際医療福祉大学、最成病院、聖隷佐倉市民病院、井上記念病院、富家千葉病院、緑栄会、北千葉整形外科、五井病院、亀田総合病院、安房地域医療センター、千葉中央メディカルセンター、玄々堂君津病院、東京医科大学病院、津田沼中央総合病院、船橋総合病院、九十九里ホーム病院 等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内でのセミナー・ガイダンスの実施 就職担当による求人紹介、個別就職指導、面接トレーニング			
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療報酬請求事務能力認定試験（医科）、日本ビジネス技能検定協会医療請求事務検定1級・医療秘書実務検定1級、日本商工会議所主催簿記検定、Microsoft office specialist、介護職員初任者研修、日本電卓技能検定協会主催電卓検定 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
135人	1人	0.7%
(中途退学の主な理由) 家庭の都合・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 目標・目的意識の再確認などの指導本人 本人・保護者・担任による三者面談等による指導 教務責任者による面談等による指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・福祉		教育・社会 福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 044単位時間	1130 単位時間	878 単位時間	456 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2, 464単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		34人	6人	4人	7人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>■授業方法及び内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業方法は学習の内容により適した方法を、講義、実習、グループワークの中から選択して実施している。</li> <li>・医療事務・介護・福祉・保育並びにこれらのビジネスに関する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって医療・福祉・保育関連産業に従事する有為な人材を育成することを目的とする。資格取得及び実践的な技術とし知識を実習と演習にて修得する。</li> </ul> <p>■年間の授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。</li> <li>・なお、教育課程編成委員会を設け、専門分野に関する企業、団体等との意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、内容の見直しと更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。</li> </ul>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>■成績評価</p> <p>学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>■試験</p> <p>授業科目ごとに行う定期試験による。ただし、授業科目によってはその他の方法で査定する。その他の方法には実習成果、履修状況などの評価が含まれる。また、本校において必要と認めたとときに限り、追試験及び再試験を行う。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>本校に在学し、所定の授業時間数以上を履修し、かつその該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>介護福祉科の卒業については、次に掲げる3項目に基づき、校長がこれを認定する。</p> <p>(1) 履修時間の出席率</p> <p>なお、授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない者、及び介護実習及び保育実習の出席時間数が履修時間数の5分の4に満たない者は、履修の認定をしないこととする。</p> <p>(2) 授業科目ごとの学業成績</p> <p>(3) 実習先施設の評価</p>	



学修支援等 (概要) 無断欠席の場合、電話連絡 本人・保護者・担任による三者面談等により指導
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	15人 (93.8%)	1人 (6.2%)
(主な就職、業界等) さつき会、ピアポート千壽苑、寿陽会、船橋ケアセンター、和陽園、泰斗会、グリーンポート恵比寿 等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内でのセミナー・ガイダンスの実施 就職担当による求人紹介、個別就職指導、面接トレーニング			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士受験資格、日本ビジネス技能検定協会漢字能力検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	1人	3.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 目標・目的意識の再確認などの指導本人 本人・保護者・担任による三者面談等による指導 教務責任者による面談等による指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・福祉		教育・社会 福祉専門課程	こども保育学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 710単位時間	750 単位時間	1470 単位時間	240 単位時間	0 単位時間	30 単位時間
			2, 490単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		20人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>（概要）</p> <p>■授業方法及び内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業方法は学習の内容により適した方法を、講義、実習、グループワークの中から選択して実施している。</li> <li>・医療事務・介護・福祉・保育並びにこれらのビジネスに関する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって医療・福祉・保育関連産業に従事する有為な人材を育成することを目的とする。資格取得及び実践的な技術とし知識を実習と演習にて修得する。</li> </ul> <p>■年間の授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。</li> <li>・なお、教育課程編成委員会を設け、専門分野に関する企業、団体等との意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、内容の見直しと更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。</li> </ul>						
成績評価の基準・方法						
<p>（概要）</p> <p>■成績評価</p> <p>学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>■試験</p> <p>授業科目ごとに行う定期試験による。ただし、授業科目によってはその他の方法で査定する。その他の方法には実習成果、履修状況などの評価が含まれる。また、本校において必要と認めたとときに限り、追試験及び再試験を行う。</p>						

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>本校に在学し、所定の授業時間数以上を履修し、かつその該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>こども保育学科の卒業については、次に掲げる3項目に基づき、校長がこれを認定する。</p> <p>(1) 履修時間の出席率</p> <p>なお、授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない者、及び介護実習及び保育実習の出席時間数が履修時間数の5分の4に満たない者は、履修の認定をしないこととする。</p> <p>(2) 授業科目ごとの学業成績</p> <p>(3) 実習先施設の評価</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>無断欠席の場合、電話連絡</p> <p>本人・保護者・担任による三者面談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
—			
(就職指導内容)			
全体指導によるレクチャー、校内でのセミナー・ガイダンスの実施 就職担当による求人紹介、個別就職指導、面接トレーニング			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
保育士、日本ビジネス技能検定協会漢字能力検定			
(備考)（任意記載事項）			
平成31年4月学科設置のため卒業生の輩出なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	3人	25.0%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、家庭の都合等		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
目標・目的意識の再確認などの指導本人 本人・保護者・担任による三者面談等による指導 教務責任者による面談等による指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・福祉		教育・社会 福祉専門課程	保育専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	850単位時間	260 単位時間	1170 単位時間	80 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,510単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>（概要）</p> <p>■授業方法及び内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業方法は学習の内容により適した方法を、講義、実習、グループワークの中から選択して実施している。</li> <li>・医療事務・介護・福祉・保育並びにこれらのビジネスに関する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって医療・福祉・保育関連産業に従事する有為な人材を育成することを目的とする。資格取得及び実践的な技術とし知識を実習と演習にて修得する。</li> </ul> <p>■年間の授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。</li> <li>・なお、教育課程編成委員会を設け、専門分野に関する企業、団体等との意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、内容の見直しと更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。</li> </ul>						
成績評価の基準・方法						
<p>（概要）</p> <p>■成績評価</p> <p>学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>■試験</p> <p>授業科目ごとに行う定期試験による。ただし、授業科目によってはその他の方法で査定する。その他の方法には実習成果、履修状況などの評価が含まれる。また、本校において必要と認めたとときに限り、追試験及び再試験を行う。</p>						
卒業・進級の認定基準						
<p>（概要）</p> <p>本校に在学し、所定の授業時間数以上を履修し、かつその該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p>						
学修支援等						
<p>（概要）</p> <p>無断欠席の場合、電話連絡 本人・保護者・担任による三者面談等</p>						

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) —			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内でのセミナー・ガイダンスの実施 就職担当による求人紹介、個別就職指導、面接トレーニング			
(主な学修成果（資格・検定等）) 幼稚園教諭免許			
(備考)（任意記載事項） こども保育学科を卒業後に短大併修により幼稚園教諭免許取得のための学科であるため、現在在籍者なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 目標・目的意識の再確認などの指導本人 本人・保護者・担任による三者面談等による指導 教務責任者による面談等による指導		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療事務科	200,000 円	680,000 円	290,000 円	その他内訳 (教材費 80,000 円、維持費 120,000 円、実習・演習費 90,000 円)
介護福祉科	200,000 円	680,000 円	380,000 円	その他内訳 (教材費 80,000 円、維持費 200,000 円、実習・演習費 100,000 円)
こども保育学科	200,000 円	680,000 円	240,000 円	その他内訳 (教材費 80,000 円、維持費 120,000 円、実習・演習費 40,000 円)
こども保育学科	200,000 円	680,000 円	340,000 円	公務員 (資格職) を選択した場合 その他内訳 (教材費 80,000 円、維持費 120,000 円、実習・演習費 140,000 円)
保育専攻科	200,000 円	680,000 円	240,000 円	その他内訳 (教材費 80,000 円、維持費 120,000 円、実習・演習費 40,000 円)
修学支援 (任意記載事項)				
独自の奨学生制度を設けている。 ①試験による特別奨学生制度 大原独自の特別奨学生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除する。 ②資格・クラブ活動による特別奨学生制度 大原学園入学までに取得した資格や成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 下記ホームページで公表している。 <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。 この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿った評価項目から評価する。 課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社コナカ	2019年4月1日～ 2021年3月31日	企業等委員
有限会社武井観光	2019年4月1日～ 2021年3月31日	企業等委員
江口法律事務所	2019年4月1日～ 2021年3月31日	企業等委員
日本コンサルティング株式会社	2020年3月31日～ 2022年3月31日	企業等委員
医療法人社団駿心会 稲毛病院	2019年4月1日～ 2021年3月31日	企業等委員
医療法人社団総和会 介護老人保健施設総和苑	2019年4月1日～ 2021年3月31日	企業等委員
社会福祉法人八千代美香会 特別養護老人ホームちば美香苑	2020年3月31日～ 2022年3月31日	企業等委員
株式会社ロイヤルパークホテル	2019年4月1日～ 2021年3月31日	卒業生委員
医療法人社団平静会 大村病院	2019年4月1日～ 2021年3月31日	卒業生委員
社会福祉法人さつき会 特別養護老人ホーム袖ヶ浦菜の花苑	2019年4月1日～ 2021年3月31日	卒業生委員
社会福祉法人友和会 介護老人福祉施設ピアポート千壽苑	2019年4月1日～ 2021年3月31日	卒業生委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 下記ホームページで公表している。 <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 下記ホームページで公表している。 <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/</a>
--